

	項目	はい (%)	いいえ (%)	未記入 (%)	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	88	12	0	・基準は遵守しているが、園庭、遊戯室が狭く感じているため、地域の公園を活用するなどの工夫もしている。
	② 職員の配置数は適切であるか	70	18	12	・午睡中でも他のクラスの体制が整っているか確認してフォローに入るなど工夫している。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	94	6	0	・子どもに触ってほしくない物も部屋に置いてあるので、子どもの目につかない所や手の届かない所に置くなど、更に改善すると子どもを注意することが減るのではないかと思う。 ・利用児に分かりやすいよう、それぞれのマークをロッカー・椅子・テーブルに貼ってある。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	88	12	0	・部屋の拭き掃除等も、日々の「掃除内容に加えても良いのではと思う。 ・療育後清掃し、療育開始までに活動の準備をしている。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	65	23	12	・担当者1人の判断になってしまいがちのため、計画的なミーティングが必須。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	94	0	6	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	88	0	12	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	65	12	23	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100	0	0	・准職員にも機会がいただけてありがたい。

適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	88	6	6	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	59	23	18	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	94	0	6	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	94	6	0	・定期的にクラス内のミーティング読み合わせをするように伝えている。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	76	12	12	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	88	0	12	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	88	0	12	・OTの個別を取り入れているが、今後は計画的に実施できるよう検討中。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	82	6	12	・日案を使用しながら各クラスが努力しているが、今後も継続した取り組みが必要。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	70	24	6	・私が准職員で早く帰ることもあり、振り返りを行う機会をもてないことも多い。 ・必ずとはいいがたいので、時間を持てるようにしたい。 ・時間が足りないように思う。
	⑲ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	76	12	12	
⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	94	0	6		

...	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	88	0	12	
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	82	0	18	
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				

関係機関や保護者との連携	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	88	0	12	・事前含め連携を図っている。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	94	0	6	・連携実施及び状況報告書の作成。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100	0	0	
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	12	65	23	・実施できていない。地域の公園には出向いている。 ・併行通園の子どもたちについては問題ないが、毎日通園の子どもたちについては、難しい状況である。 ・併行通園の子どもはあるが、単独の子どもはない。子どもさんの状況に応じて考えていきたい。
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	71	6	23	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	88	0	12	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	41	35	24	・ペアレント・トレーニングについては実施していないが、個別懇談等で子どもの課題対応について共有している。 ・学習会及び交流会を計画し開催している。

保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	88	6	6	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	82	6	12	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	94	0	6	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	94	0	6	・合同での学習会及び交流会を計画し実施している。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	94	0	6	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	94	0	6	・あいあい便り等の発行及び配信メールを取り入れて発信している。
	③⑱	個人情報に十分注意しているか	100	0	0	
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	82	6	12	
④⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	41	41	18	・民生委員の会議に挨拶及びお便りを発行している。	

非常時等の対応	④⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	88	0	12	・防犯マニュアルについては実施できていない。
	④⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	82	6	12	
	④⑳	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	82	0	18	
	④㉑	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	94	0	6	・アレルギーの子どもには1年に1回の指示書、通院の報告など、栄養士とも連携を密に図っている。
	④㉒	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	94	0	6	
	④㉓	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	76	6	18	
	④㉔	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	76	0	24	・年度初めに別紙配布、署名を頂いている。

- 【全体としての改善目標】**
- ① 保護者支援の充実⇒個別懇談等を計画的に実施する中で、話しやすい雰囲気づくりを図り、信頼関係を構築する。
  - ② 療育内容の充実と専門性の向上。⇒外部講師による個別相談や療育指導を継続して実施。職員間での連携を強化し、課題解決に向けPDCAサイクルが確立するよう努める。
  - ③ 地域の連携・つながり強化。⇒近隣施設や地域住民との交流を深め、発達障害への理解及びセンターの取り組みが広がるよう努める。
  - ④ 非常時の対応⇒マニュアル周知及び訓練の実施について検討し、時代に合った方法を計画実施する。